

## J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 2月号

### 1. 牛乳の消費拡大をレシピ動画で応援

J A 鳥取西部白ネギ料理研究会は、牛乳を使った家庭料理のレシピ動画を同 J A 公式ホームページやユーチューブなどで配信し、新型コロナウイルス禍で落ち込む牛乳・乳製品の消費拡大を応援している。

動画配信したレシピは「白ねぎのミルクスープ」。同研究会が考案した白ネギ料理で、白ネギはもちろん牛乳のおいしさがしっかりと味わせる人気の一品。12月20日から配信を開始した。

動画はこちら ⇒ <https://youtu.be/Y6PWEmecV1U>



### 2. 「未来につなぐ恵みのバトン」青壮年部メッセージ顔はめパネル看板が好評

J A 鳥取西部青壮年部中山支部は、「未来につなぐ恵みのバトン」をテーマにした看板を手作りし、J A 中山支所に設置した。

看板は大人から子どもに白ネギをバトンにして受け渡すイラストで、2人の顔の部分には穴が空いており、顔をはめて遊ぶことができる。

なお、この看板は「J A 青年組織手づくり看板全国コンクール」（全青協主催）に応募し、J A 共済連賞を受賞した。



### 3. 市町村長に米農家支援を要請

新型コロナウイルスの影響で外食産業でのコメ消費量が激減し、過大な流通在庫が生まれ米価暴落の危機に直面している状況を受け、JA鳥取西部は1月24日、県西部の8市町村に出向き、令和3年産米の米価下落に伴う農家への支援要請を求めた。

#### JA鳥取西部 8市町村へ要請

## 米減収に助成を

【鳥取西部】新型コロナウイルスの影響で外食産業での米消費の激減による米価下落の危機に直面している状況を受け、JA鳥取西部は24日、県西部の8市町村に2021年産米で農家への支援を求めた。

米価下落は、小規模だけでなく、大規模農家まで経営維持が困難で、離農を余儀なくされかねない深刻な状況にある。地域経済への影響が大きく、経済を

さらに停滞させる恐れがあるとして緊急支援を要請した。

JAの21年産米の概算金は「コシヒカリ」1等米で1袋(30キロ)当たり1300円下がり、10㌔当たり約2万3000円の減収となる。要請は、米の販売

農家を対象に21年産の減収額の2分の1の助成を求めた。JAは、肥料や農薬の価格高騰が続く中、早期に在庫確保するなどし、価格の維持や生

産コストを抑える対応をしている。谷本晴美組合長は「多くの米農家が今年の米作りから撤退することにもなりかねない。安定的な食料供給もできなくなる恐れもある。地域の基幹産業の農業を守るため市町村の理解と協力を得たい」と話した。

以上